



『3学期のスタートに思うこと』

～子どもに本当の自信を育てるには～

校長 古館 昭仁

令和8年(2026年)がスタートして1ヶ月、3学期がスタートして2週間がたちました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。25日間の冬休みを終え、子どもたちは、大きな事故やケガ、病気もなく、元気に登校することができました。また、一人ひとりが冬休みの課題に取り組み、心や力がこもった多種多彩な自由研究が玄関に並べられていて、どれも素晴らしくて、感心するばかりです。



27日(火)には新一年生が保護者とともに来校し、一日入学を実施しました。担当の1年生と5年生が企画や準備を整えて、「手作りけん玉遊び(1年生と)」「おにごっこ(5年生と)」を行いました。また、保護者への説明会や親子で給食試食会を行い、短い時間ではありましたが、小学校の様子や雰囲気を体験していただくことができました。

学校は各学年のスキー授業が始まり、XCスキーや裏山スキーに挑戦しています。2月から、中・高学年はルスツリゾートでのスキー学習もスタートします。また、どの子ども次の学年に向けたまとめをしているところです。6年生は卒業に向けたカウントダウンが始まり、「中学生になるんだ」という意識が日一日と高まっています。

さて、先日、ある読み物で次のような記事を見かけましたので紹介します。

アドラー心理学で有名なアルフレッド・アドラーは、親が子への甘やかしの警告として、①「甘やかせすぎ」②「過許可」③「過支配」④「過保護」という4パターンがあり、親の子どもへの行き過ぎた関わりが子どもの主体性や自主性を奪い、子どもが自ら成長する力を弱めてしまい、意図せず有害な援助であるとしています。それに対して、子どもの自信を育てるためにどうしたらよいか。アドラーは「人にはそれぞれ、行動や結果の最終的な責任を引き受ける課題がある」と言います。例えば、子どもに降ってきた課題は子ども自身が体験し、考え、解決しなければなりません。もしそこで失敗しても、子どもにはその結末を引き受ける責任があるのです。その責任を引き受けることで「私には能力がある」「私ならできる」という自信が身につきます。ですから親は子どもに頼まれたり、相談されたりしない限り、課題に口を挟んだり、代わりにやったりして子どもの成長の機会を奪ってはいけません。

ある母親から「忘れ物をする子どもとの関わり方」の悩み相談として、「私には小学生の子どもがいます。うちの子は毎週月曜、学校に上履きを持って行くのを忘れてしまうのですが、どうしたら忘れ物がなくなりますか？」その回答は「それは子どもの課題ですから、親が手伝ってはいけません。子どもに依頼されない限り、手伝うのをやめましょう。」です。

子どもは月曜の朝、見事にまた上履きを忘れて登校していきました。「頼まれない限り手伝わない」という約束を守ったお母さんはそのままにしておきました。夕食時に「上履きの件」を子どもに聞くと、「靴箱のところで上履きを忘れたことに気付いていたら、友だちのA君が来て『どうしたの?』と聞いてくれたの。『上履き忘れた』と言ったら『じゃあ、片方貸してあげるよ』と言って、右足の上履きを貸してくれた」その日二人は片方ずつの上履きで一日を過ごしたそうです。その子はその子なりに「どうしたらよいか」を考え、友だちの力を借りて困難を乗り越えたという話です。子どもの自信を育てるためには、時間はかかりますが、子どもを一人の人間として尊敬し、信頼し、共感することが大切なのですね。



本年度の重点目標

主体的・対話的に学ぶ力の育成 ～意欲溢れる優しい子～

大自然に囲まれた学び舎にふさわしい「きもべつの子」を共に育てましょう!



冬休み明け、本校の玄関前には冬休み中に取り組んだ自由研究や工作などが展示されました。楽しく遊べるものや、細かな作業を根気強く続けて完成させた作品などがそろい、休み時間には子どもたちだけではなく、先生方も感心しながら見えています。

ご家族の方から教えていただきながら作ったり、授業で取り組んだことを活かして自分で制作してみたり、調べ学習に取り組んだりした作品が多くありました。お子様の「やってみたい」という、興味を広げる取り組みにさせていただけたことに、感謝申し上げます。



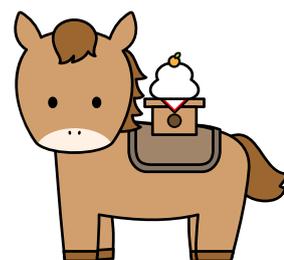
OPENING CEREMONY

63名そろって3学期スタート

3学期の始業式は、全員そろってのスタートとなりました。冬休み期間中、少し体調を崩した人もいたようですが、3学期の初日には全児童が元気よく登校し、始業式に臨むことができました。校長先生から「何か目標をもって過ごしていきましょう。」とのお話がありました。

子ども達の意欲を育めるよう、職員全体で指導に当たっていきます。本年も本校の教育に対し、保護者並びに地域の皆様のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

2026



DAILY ROUTINE

生活リズムチェックのご協力、ありがとうございました。

冬休み生活リズムチェックシートの提出にご協力いただき、ありがとうございました。冬休みは年末年始のイベントなどリズムが乱れがちですが、大きくリズムを崩すことなく過ごしてた様子が記録用紙に書かれていました。

厚生労働省から「健康づくりのための睡眠ガイド2023」が提示されました。小学生は、9～12時間の睡眠時間が推奨されています。睡眠には心身の休養と脳と身体を成長させる役割があり、睡眠時間不足が原因で、抑うつ傾向が強くなること、学業成績が低下すること、幸福感や生活の質が低下することなどが、報告されています。成長期である高校生までは長い睡眠時間を必要とすることがわかっており、成人よりも規則正しい生活習慣を保つことがより重要になるそうです。3学期がスタートしましたが、今後も規則正しい生活を続けることができるよう、ご家庭での協力をお願いいたします。



ONE-DAY TRIAL CLASS

新1年生一日体験入学

4月から喜茂別小学校の仲間になる7人の新1年生が、一日体験入学で喜茂別小学校で半日を過ごしました。明るく元気に挨拶をして校内に入ってきた7人の姿に、入学を楽しみにしている気持ちを感じました。1年生教室では1年生と一緒に紙コップのけん玉づくりを楽しみ、5年生とは体育館で体を動かして遊びました。新1年生は、初めての場所で不安を感じることも多いですが、上級生が声をかけ一緒に遊んでくれたことで、学校が安心できる場所だと感じられたことと思います。4月の入学が在校生、新1年生共に楽しみになったようです。

